

平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月10日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社SEED

コード番号 1739 URL <http://www.seed-kyoto.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 岡橋 成泰

問合せ先責任者 (役職名) 管理部 グループ長

(氏名) 七海 不二男

TEL 075-595-1311

四半期報告書提出予定日 平成24年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	3,697	37.1	△134	—	△159	—	△141	—
23年3月期第3四半期	2,696	—	△123	—	△155	—	△197	—

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 △141百万円 (—%) 23年3月期第3四半期 △197百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	△12,397.99	—
23年3月期第3四半期	△17,359.32	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第3四半期	3,005	603	20.0	53,044.65
23年3月期	3,961	744	18.8	65,442.65

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 603百万円 23年3月期 744百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,000	—	△170	—	△200	—	△190	—	△16,695.95

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期3Q	12,300 株	23年3月期	12,300 株
----------	----------	--------	----------

② 期末自己株式数

24年3月期3Q	920 株	23年3月期	920 株
----------	-------	--------	-------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期3Q	11,380 株	23年3月期3Q	11,380 株
----------	----------	----------	----------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この決算短信は、金融商品取引法に基づく監査手続きの対象外であり、この決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく財務諸表の監査手続きは終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定および業績予想の利用にあたっての注意事項については、2ページ「1. 経営成績(1) 経営成績の分析」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報(その他)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(6) 重要な後発事象	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響により厳しい状況が続いておりますが、資材流通の復旧により、一部には回復の兆しが見えました。しかし、円高進行や株価下落により市場が低迷しており、先行きが不透明で厳しい経済状況が続いております。

建設業界におきましては、政策支援、消費税及び相続税の増税への動きなどを背景にした土地活用ニーズの高まりなどが見られるものの、依然として厳しい状況が続いております。

当社グループにおきましては、平成23年4月1日付で新たな組織体制を敷き、「必ず黒字にする！」をスローガンに業績の回復に努めた結果、引き合いが増加し、受注件数も増加しておりますが、賃貸マンション1棟当たりの規模も縮小傾向にあること、狭い市場において価格競争の激化により、受注件数に応じた売上増、利益確保に至りませんでした。前連結会計年度下半期の受注件数の減少や、京都市内及び滋賀県内の貸家新設着工件数が前年同期に比べて下回っている現状、更に、東日本大震災の発生による資材価格高騰の影響も受けました。

このような状況のもとで、業績につきましては売上高は3,697,416千円（前年同四半期は2,696,444千円）、利益面については営業損失134,795千円（前年同四半期は123,168千円）、経常損失159,228千円（前年同四半期は155,711千円）、四半期純損失141,089千円（前年同四半期は197,549千円）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資 産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて45.9%減少し、1,026,578千円となりました。これは、受取手形が67,317千円増加しましたが、販売用不動産が734,806千円、仕掛販売用不動産が156,162千円それぞれ減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて4.0%減少し、1,978,699千円となりました。これは、有形固定資産が81,186千円減少したことなどによります。

この結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べて24.1%減少し、3,005,278千円となりました。

(負 債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて15.7%減少し、1,275,759千円となりました。これは、短期借入金が150,000千円、1年以内償還予定社債が60,000千円それぞれ減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて33.8%減少し、1,125,871千円となりました。これは、社債が325,000千円、長期借入金が175,385千円、預り保証金が69,766千円減少したことなどによります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて25.3%減少し、2,401,630千円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて18.9%減少し、603,648千円となりました。これは、利益剰余金が141,089千円減少したことによります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今年度通期の売上高、営業利益、経常利益及び当期純利益の連結業績予想については平成24年2月10日に公表しました通りであります。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	587,673	582,325
受取手形・完成工事未収入金等	281,909	310,998
販売用不動産	784,806	50,000
未成工事支出金	15,403	27,657
仕掛販売用不動産	175,284	19,121
繰延税金資産	7,091	4,421
その他	48,088	33,922
貸倒引当金	△1,739	△1,867
流動資産合計	1,898,517	1,026,578
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,508,166	1,428,477
その他（純額）	7,199	5,702
土地	333,355	333,355
有形固定資産合計	1,848,721	1,767,535
無形固定資産	5,315	13,298
投資その他の資産		
その他	217,012	207,398
貸倒引当金	△8,032	△9,532
投資その他の資産合計	208,980	197,866
固定資産合計	2,063,017	1,978,699
資産合計	3,961,535	3,005,278
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	283,613	279,773
短期借入金	500,000	350,000
1年内返済予定の長期借入金	234,117	221,700
1年内償還予定の社債	310,000	250,000
未払法人税等	2,734	1,308
賞与引当金	—	3,290
工事損失引当金	28,973	16,400
その他	155,400	153,286
流動負債合計	1,514,838	1,275,759

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
固定負債		
社債	450,000	125,000
長期借入金	577,085	401,700
退職給付引当金	26,623	29,392
預り保証金	472,989	403,223
資産除去債務	99,363	100,868
その他	75,897	65,686
固定負債合計	1,701,959	1,125,871
負債合計	3,216,797	2,401,630
純資産の部		
株主資本		
資本金	260,782	260,782
資本剰余金	226,282	226,282
利益剰余金	292,633	151,544
自己株式	△34,960	△34,960
株主資本合計	744,737	603,648
純資産合計	744,737	603,648
負債純資産合計	3,961,535	3,005,278

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	2,696,444	3,697,416
売上原価	2,422,105	3,466,982
売上総利益	274,339	230,433
販売費及び一般管理費	397,507	365,229
営業損失(△)	△123,168	△134,795
営業外収益		
受取利息	244	127
受取手数料	1,275	1,229
受取保険金	325	151
その他	1,060	1,325
営業外収益合計	2,905	2,834
営業外費用		
支払利息	28,984	20,723
その他	6,463	6,543
営業外費用合計	35,448	27,267
経常損失(△)	△155,711	△159,228
特別損失		
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	21,671	—
固定資産除却損	3,452	—
その他	915	—
特別損失合計	26,039	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△181,750	△159,228
法人税、住民税及び事業税	1,071	1,071
法人税等還付税額	—	△14,648
法人税等調整額	14,727	△4,562
法人税等合計	15,798	△18,139
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△197,549	△141,089
少数株主利益	—	—
四半期純損失(△)	△197,549	△141,089

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△197,549	△141,089
四半期包括利益	△197,549	△141,089
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△197,549	△141,089
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	建設事業	不動産事業	不動産 賃貸事業	計
売上高				
外部顧客への売上高	2,082,822	970,476	644,117	3,697,416
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	2,082,822	970,476	644,117	3,697,416
セグメント利益又は損失(△)	△41,267	19,430	58,383	36,546

(注) 1 その他事業につきましては、運営しておりました飲食業を平成22年8月をもって閉店している為、当第1四半期より該当事項はありません。

2 セグメント別資産の著しい金額の変動

第1四半期連結会計期間において、収益物件として事業に供していた販売用不動産の売却を行っており、不動産賃貸事業における資産の金額が前連結会計年度末に比べて734,806千円減少しております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	36,546
「その他」の区分の利益	—
セグメント間取引消去	—
全社費用(注)	△171,342
棚卸資産の調整額	—
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△134,795

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。